

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

2016
September
vol.231

9

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。



すっ飛び駕



エノケンのちゃっさり金太



転校生



王将



おとうと

通常上映 アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛 日本映画名作選

図書館収蔵の日本映画の名作・秀作のアンソロジー

通常上映 アジア文化賞大賞受賞記念

A.R.ラフマーンの映画音楽

ラフマーンを一躍時代の寵児にしたインド映画2作品を上映



ロージャー

通常上映

アジアフォーカス・福岡国際映画祭協賛

日本映画名作選

図書館収蔵の日本映画の名作・秀作のアンソロジー

会期：9月1日(木)～9月25日(日) ※休館日・休映日・19日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。

(手帳や保険証などの提示が必要です)

※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です)

1(木) 11:00 / 10(土) 11:00

エノケンのちゃっきり金太



監督：山本嘉次郎

出演：榎本健一 中村是好

1937年/35ミリ/モノクロ/72分/P.C.L.

幕末。金太は一流のスリで、薩摩藩士の懐から財布と一緒に密書を盗んでしまう。勤皇派の侍から金太は命を狙われるようになり江戸を逃げ出すが、岡っ引きの倉吉も金太を追っていく。昭和30年代に絶大な人気を誇ったエノケンこと榎本健一主演のドタバタアクション映画。ギャグと歌がふんだんに盛り込まれた娯楽作品。

※本作は再編集版であり、作品が古い状態が良くありません。ご了承ください。

2(金) 11:00 / 11(日) 11:00

すっ飛び駕



監督：マキノ雅弘

出演：大河内傳次郎 河津清三郎

1952年/16ミリ/モノクロ/98分/大映

河内山宗俊は千代田城のお数寄屋坊主だが、裏ではゆすりたかりを行っていた。ある日宗俊は金子市之丞という若侍と知り合う。市之丞は榎倉藩の河川改修工事の不正を摘発しようとして追われていた。子母沢寛の同名小説の映画化。もともと河内山宗俊は歌舞伎の「天保六花撰」に登場するキャラクター。大河内傳次郎が流石の貫録で宗俊を演じている。

※作品が古い状態が良くありません。ご了承ください。

3(土) 14:00 / 15(木) 11:00 / 25(日) 14:00

おとうと

大正末期。げんと碧郎は3つ違いの姉弟。げんはリュウマチを患う継母に代わって家事を切り盛りしていた。しかし家の中はギスギスして碧郎はひねくれていく。姉にだけは心を開く碧郎だが、ある日結核で倒れてしまう。文豪・幸田露伴の娘・幸田文の自伝的小説を映画化した作品。監督の市川崑はかねてから映画化を望んでおり、大正時代の雰囲気を出すために、モノクロ映画用の照明を使用し、フィルムの感光を途中で止める「銀銭し」という手法で発色を抑えた独特の色彩表現が使われている。



監督：市川崑

出演：岸恵子 川口浩

1960年/35ミリ/カラー/98分/大映

叙情的な演出と実験的な表現が合った傑作で、市川崑監督とカメラマン宮川一夫の代表作の1本となった。



1(木) 14:00 / 10(土) 14:00 / 16(金) 14:00

二人妻 妻よ薔薇のやうに



監督：成瀬巳喜男

出演：千葉早智子 丸山定夫

1935年/35ミリ/モノクロ/74分/P.C.L.

君子の父・俊策は砂金を探して山に入り、芸者上りのお雪と暮らしていた。君子は格式ばかりを重んじる母・悦子にも、帰宅しない父にも怒りを覚えており、俊策を連れ戻しに山に行く。原作は中野実の「二人妻」。監督は俊策、悦子、お雪の立場を平等に扱いそれぞれの生き方として肯定している。女性映画の巨匠・成瀬監督の戦前の代表作の一本。

※作品が古い状態が良くありません。ご了承ください。

2(金) 14:00 / 11(日) 14:00

王将



監督：伊藤大輔

出演：阪東妻三郎 水戸光子

1948年/35ミリ/モノクロ/93分/大映

明治の終わり。大阪・天王寺の長屋に住む坂田三吉は無類の将棋好き。プロ棋士を交えた大会に参加し勝ち上がった三吉は関根7段と対戦、反則負けとなる。これを機にプロになる決意をした三吉は関西を代表する棋士へと上り詰める。そして関根8段と名人の座をかけて対戦する。実在の棋士坂田三吉の半生を映画化したもの。伊藤大輔監督の傑作であり、主演の阪東妻三郎の熱演が素晴らしい。

3(土) 11:00 / 14(水) 14:00 / 25(日) 11:00

空の大怪獣ラドン



監督：本多猪四郎

出演：佐原健二 白川由美

1956年/35ミリ/カラー/82分/東宝

九州の炭坑で炭坑夫たちが死亡する事件が起きる。巨大な古代トンボの幼虫が原因だが、今度は幼虫を餌とする巨大な鳥が出現、ラドンと命名される。ラドンは阿蘇の地下に眠っていたが、地殻変動で目を覚ましたのだ。「ゴジラ」と肩を並べる初期の東宝怪獣映画の傑作。ラドンに破壊される福岡市や戦闘機との空中戦などの特撮技術も見事である。

4(日) 14:00 / 16(金) 11:00 / 24(土) 14:00

妖刀物語 花の吉原百人斬り



監督：内田吐夢

出演：片岡千恵蔵 水谷良重

1960年/35ミリ/カラー/108分/東映

江戸時代。寺の門前に捨てられた赤ん坊は裕福な商人の夫婦に拾われ、次郎左衛門と名付けられる。次郎左衛門は熱心に働き店を継ぐが、生まれつき顔に醜い痣があり、結婚することができなかった。ある日友人に誘われ吉原に行った次郎左衛門は、遊女の玉鶴と出会い夢中になる。歌舞伎の原作を脚本化した作品。現代的な視点を盛り込み、内田吐夢監督の時代劇の代表作として高く評価された。

4(日) 11:00 / 15(木) 14:00 / 24(土) 11:00

豚と軍艦



監督：今村昌平

出演：長門裕之 吉村実子

1961年/35ミリ/モノクロ/108分/日活

戦後間もない横須賀のドブ板通り。当局により売春ハウスを摘発された日森一家は危機だった。そこで米軍基地からの残飯を使った豚の飼育を思い立つ。チンピラの欣太は一攫千金で恋人の春子と所帯を持とうと張り切る。ヤクザ達の欲望と陰謀が交錯し、コミカルでありながら重厚なリアリズムで描かれる作品。今村監督はこれを「重喜劇」と称し、独自の映画スタイルを確立する。

7(水) 11:00 / 22(木・祝) 11:00

わが命の唄 艶歌



監督: 舛田利雄
出演: 水前寺清子 渡哲也
1968年/35ミリ/カラー/109分/日活

音楽ディレクター津川は元の上司の黒沢に誘われレコード会社に入る。そこには「艶歌の竜」と呼ばれる大物プロデューサー高円寺がいた。黒沢は高円寺とレコードの売り出し方法で対立し、新人歌手の売り出しで決着をつけることになる。五木寛之の小説「艶歌」の映画化。新人歌手を水前寺清子が演じており、高円寺のモデルはクラウンレコードの实在のプロデューサーと言われている。

8(木) 14:00 / 18(日) 11:00

転校生



監督: 大林宣彦
出演: 小林聡美 尾美としのり
1982年/35ミリ/カラー/113分
日本テレビ放送網=ATG

中学生・斉藤一夫のクラスに幼馴染だった斉藤一美が転校してくる。ある日二人は喧嘩をして神社の階段を一緒に転げ落ちてしまう。気が付いた時、二人は体が入り替わっていることに気付く。男の子と女の子の体が入り替わることによる騒動を描いたファンタジックコメディ。大林監督の「尾道三部作」の一作としても知られる作品で、以後の大林監督のスタイルを確立した傑作。

9(金) 11:00 / 18(日) 14:00

よみがえれカレーズ



監督: 土本典昭 熊谷博子
アブドゥル・ラティーフ
1989年/16ミリ/カラー/117分
記録社=シングロ

1988年。ソビエト軍の撤退によりアフガン戦争が終結。アフガニстанは一時的に平和を取り戻す。このドキュメンタリーは88年春から秋にかけて撮影されたもので、内戦の中を生き抜く人々が記録されている。題名の「カレーズ」とは地下に掘られた水道で、農業用水などで利用されてきた水路の事。希望を無くさない人々の姿の象徴である。

7(水) 14:00 / 17(土) 14:00 / 23(金) 14:00

ダイナマイトどんだん



監督: 岡本喜八
出演: 菅原文太 宮下順子
1978年/35ミリ/カラー/142分
大映=東映

昭和25年、北九州ではヤクザの抗争がエスカレートし、橋伝組と岡源組は一触即発の状態だった。そこで小倉警察は野球大会を開催し、民主的に事態を開きようとする。そして野球の試合に名を借りたルール無視の喧嘩野球が始まる。ヤクザ映画とスポ根映画を合体させたような作品で、スピーディで軽快な岡本喜八監督の演出が光る快作コメディである。

8(木) 11:00 / 17(土) 11:00

風のあるぺじお



監督: 中山節夫
出演: 江藤潤 小倉一郎
1987年/35ミリ/カラー/101分
中山映画

ミュージシャン五郎の妻・章子が突然入院、五郎は3人の子供と家事を分担する。長男の竜はしばしば学校でいじめにあっていた。竜と接する時間が増えた五郎は、竜の様子がおかしいことに気付く。ミュージシャン・はしだのりひこが自らの体験を綴った「お父さんゴハンまーだ」が原作。仕事・家事に没頭してこまいる五郎の姿がユーモラスに描かれる。

9(金) 14:00 / 22(木・祝) 14:00

阿賀に生きる



監督: 佐藤真
1992年/16ミリ/カラー/116分
「阿賀に生きる」製作委員会

新潟県・阿賀野川の川筋に生きる人々、その川で水俣病に犯された人々の暮らしを3年に渡って記録したドキュメンタリー。鹿瀬町に住む長谷川芳男さん夫婦、餅つき職人・加藤作二さん夫婦、木舟を作る大工・遠藤武さんたちの生活が映画の中心で、淡々とした描写の中に、水俣病と生きる人々の姿が浮かび上がる。

アジア文化賞大賞受賞記念

通常
上映

A.R.ラフマーンの映画音楽

ラフマーンを一躍時代の寵児にしたインド映画2作品を上映

9月19日(月・祝)

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です)

※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です)

19(月・祝) 11:00

ロージャー Roja

南インドに住むロージャーは、軍の暗号解読の専門家であるリシと結婚。リシはカシミール地方の出張にロージャーを同行させ、新婚気分を楽しむ。ところがリシはイスラム教過激派のゲリラに誘拐されてしまう。マニラトナム監督と音楽のA.R.ラフマーンの出世作。南インドで大ヒットした本作はインド全土で上映される。カシミール地方の美しい自然の中、リシとロージャーの愛が美しい。



監督: マニラトナム
音楽: A.R.ラフマーン
出演: マドゥバラー
アラヴィンドスワーム
1992年/35ミリ/カラー/140分/インド
日本語字幕付き

19(月・祝) 14:30

ボンベイ Bombay

シェーカルは田舎に里帰りした時に出会ったシャイラー・バーヌに一目ぼれ、結婚を申し込む。しかし彼女の家はイスラム教徒であり、ヒンドゥー教徒のシェーカルの家とは犬猿の仲。シェーカルとシャイラーは駆け落ち同然でボンベイにやって来る。マニラトナム監督の鮮やかな場面構成と、A.R.ラフマーンのダイナミックな音楽はこの後のインド映画の流れを変えたといわれる傑作。



監督: マニラトナム
音楽: A.R.ラフマーン
出演: アラヴィンドスワーム
マニーシャ・コイラー
1995年/35ミリ/カラー/150分/インド
日本語・英語字幕付き

A.R.ラフマーン (作曲家・作詞家・歌手)



インドが生んだ世界的アーティスト。アカデミー賞受賞作「スラムドッグ\$ミリオネア」(2008年)で音楽を担当し、数々の賞を受賞。2009年アメリカTIME誌が選ぶ「世界で最も影響力のある100人」に選出されるなど、インド国内にとどまらない音楽活動を行っている。2016年アジア文化賞大賞受賞。

9月

上映スケジュール



日 本 映 画 名 作 選	1 木	11:00 エノケンのちゃっきり金太	14:00 二人妻 妻よ薔薇のやうに
	2 金	11:00 すっ飛び駕	14:00 王将
	3 土	11:00 空の大怪獣ラドン	14:00 おとうと
	4 日	11:00 豚と軍艦	14:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り
	5 月	休 館 日	
	6 火	休 映 日	
	7 水	11:00 わが命の唄 艶歌	14:00 ダイナマイトどんだん
	8 木	11:00 風のあるべじお	14:00 転校生
	9 金	11:00 よみがえれカレズ	14:00 阿賀に生きる
	10 土	11:00 エノケンのちゃっきり金太	14:00 二人妻 妻よ薔薇のやうに
	11 日	11:00 すっ飛び駕	14:00 王将
	12 月	休 館 日	
	13 火	休 映 日	
	14 水	14:00 空の大怪獣ラドン	
	15 木	11:00 おとうと	14:00 豚と軍艦
	16 金	11:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り	14:00 二人妻 妻よ薔薇のやうに
	17 土	11:00 風のあるべじお	14:00 ダイナマイトどんだん
	18 日	11:00 転校生	14:00 よみがえれカレズ
日 本 映 画 名 作 選	A.R.ラフマーンの映画音楽		
	19 月祝	11:00 ロージャー	14:30 ボンベイ
	20 火	休 館 日	
	21 水	休 映 日	
	22 木祝	11:00 わが命の唄 艶歌	14:00 阿賀に生きる
	23 金	14:00 ダイナマイトどんだん	
	24 土	11:00 豚と軍艦	14:00 妖刀物語 花の吉原百人斬り
	25 日	11:00 空の大怪獣ラドン	14:00 おとうと
	26 月	休 館 日	
	27 火▶29 木	休 映 日	
	30 金	休 館 日	

アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2016

Focus on Asia Fukuoka International Film Festival 2016

今年で26回目を迎え、9月15日(木)から25日(日)まで11日間、キャナルシティ博多内ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13などで開催します。

今年はアジアを中心とした国と地域の新作・日本未公開作品を17作品上映。また、特集上映や協賛企画上映会等の作品を含め100作品以上を上映する予定です。

今年のアジアの新作・話題作は、伝統を守りながら普通に暮らしている人々をコメディタッチとアートの両面から描いたカザフスタン映画『くるみの木』、麻薬密輸の組織を追うことになった2人の警察官を描くアクションコメディ『ポリス・エボ』(マレーシア映画)、婚活中の男女がおりなす物語に魅力的な街角が映る台湾映画『この街に心揺れて』など、アクション、コメディから社会派と充実のラインナップです。

またベトナムを大特集し、ベトナム映画に何が起こっているかについて、エンタメ系・越僑系・アート系とベトナム映画を多角的に紹介します。更にステージイベント等も開催し、大々的にベトナムを紹介します。

■プレイベント特別試写会(要事前申し込み)

8月27日(土) ●時間: 14:00~ ●会場: 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

●定員: 100組 200名(抽選) ●料金: 無料

●上映作品: HPにてご確認ください

●申込方法: ①HPの応募フォームからお申し込み

②ハガキまたはファックスでお申し込み

●申込締切: 8月10日(水) 必着

※申込方法など、詳細はHPをご覧ください。

■アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2016

9月15日(木) オープニング・セレモニー(レッドカーペット)

オープニング上映会(要事前申し込み)

※時間、会場、お申し込み方法など、詳細はHPにてお知らせします。

9月16日(金)~25日(日) 一般上映

会場: キャナルシティ博多内、ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、ぼんプラザホール

ホームページ <http://www.focus-on-asia.com/>

お問合せ先

映画祭実行委員会事務局 Tel.092-733-5170

福岡国際映画祭インフォメーション Tel.080-2789-0431

(9/1(木)より、10時~17時、土日祝も対応)

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表): tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第369回プロムナードコンサート

◆◆◆ 月に一度のお昼休みのクラシックコンサート ◆◆◆

日 時: 2016年9月20日(火) 12:00~13:00 ※入場無料

場 所: 西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目: プラームス作曲 弦楽九重奏曲第2番ト長調 Op.36 他

演奏者: 福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催: 西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団 (TEL.092-473-6777)



音楽文化のリサイクル

レコード/CDお売り下さい!!

ポニーテール 092-734-4198

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-14 立花ビル2F (AM11:00~PM8:00)

発行: 映像ホール・シネラ実行委員会

印刷: 大同印刷株式会社

R100 本紙配合率100%再生紙を使用しています。